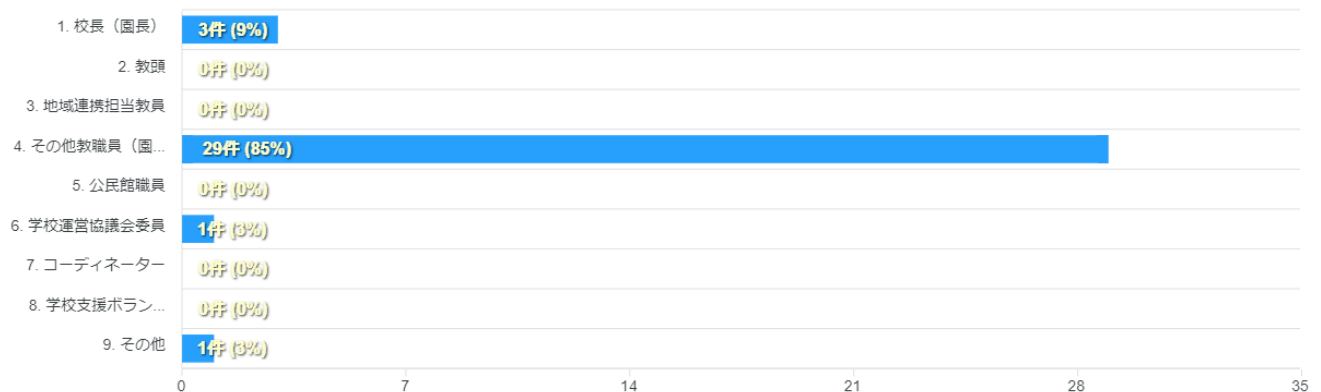


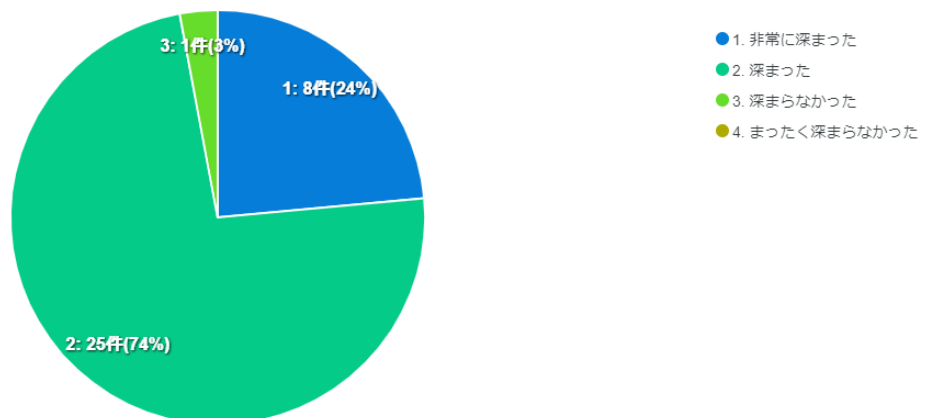
紀見東中学校区共育コミュニティ夏季合同研修会 アンケート結果

(回答者数：34 名)

問 1. どのような立場でご参加されましたか



問 2. 研修会を終えて、学校と地域の連携・協働に対する理解度は深まりましたか



問 3. あなたが学校と地域の連携・協働を推進する上でのキーワードは何ですか

- ☐ お互いの気持ちによりそう
- ☐ 思いやり
- ☐ 情報共有
- ☐ 学校と地域が同じ目線で話をすること、地域が熟すこと

開いた学校をつくるには、困り感を声に出して、協力をもとめること。

(精選につながる)

○仕掛け、きっかけ、声かけ

○学校と地域が同じ目線で子どもたちを見る

子どもたちを育てるという視点で、学校と地域の連携を深める。

○子供を中心に置いた連携

○余計な気遣いなし！地域の人材は宝！

○素地作り

○協働を意識すること

○声かけをすること

○未来思考

○我々大人達は子供達が成長をするために、どんな事も見逃さず、関わり

を持って、自立した大人になるための人間力を身に付けるきっかけを

つくって行きたいと思います。

○子どもを中心にしたい思いやり

対話

ビジョンの共有

○遠慮なし、申し訳ないなし、の子どもたちのために！を共通理解できる

こと。だとこの度の研修で強く思いました。

○納得の上での協働

○申し訳ないから...とはじめから遠慮しすぎないこと

○できる人が、できることを、できる時に、楽しく！

○地域の連携・協働の必要性を、CS ありきでなく、「フラット」に考える

ことが重要だと考えます。すなわち、連携・協働を目的として掲げるの

ではなく、学校の目的達成のための手段の一つとして捉えることが重要

だと考えます。

○学校からの積極的な情報の発信(お願いも含めて)

○教員のゆとり

- 地域を知る
- 持ちつ持たれつ
- 関わり
- 情報発信
- 互恵性
- コミュニティ・スクールは、誰かが言ったからしようという OK の姿勢ではなく、同じ目的をもって、「一緒にやっ払いこう」と LET'S の姿勢を持つことが大切
- 目線を揃える
- 思いやり、ほめる、連携、声かけ、対話、一緒にする、助け合い

問 4. 研修会を受けて、明日からやってみようと思ったことがあればご記入ください

- きっかけを探すことです
- 子どもたちへの言葉かけ、保護者ともっとコミュニケーションをとる
- 子どもにつけたい力をよく考えて、必要な教材を取り入れる
- 地域の方と共同してできることは何か考え続けること
- ○○な子どもに育ってほしい、子どもたちに○○な力を身につけてもらいたいという気持ちで、教育活動に臨む。
- 子供の話をよく聞く姿勢を身につける
- 一年間の教材内容を見て、地域の人に協力してもらえそうなものを探す
- 畑の水やりをしているときに散歩中の地域の方々に声かけ（野菜もらってもらいます）
- 地域の方と連携して、できることを進めて行きたい
- 今までの取組を振り返り、できそうなことを見つけること
- ネットワークを持つ
- いつもやるように心掛けていますが、今まで以上に丁寧な挨拶を

する事で、関わりのきっかけをつくっていきたいと思います

○自分なりに勉強

※必要だと伝えられるようになるために"

○地域の方々への、感謝の気持ちを子どもたちの様子をより具体的に伝えながら、示そうと思います。便利ではなく、心底ありがたく思っていることを素直にどんどん伝えていきたいです。

○話し合いに参加すること

○地域に働きかけてくれている方ってどんな立場の人がいるのか知ること。知っていれば児童や保護者への助言や、学校で何かやる時などにアイデアが広がるかと思って。

○紀見東中学校で、家庭科を教えています。実習の授業では、地域の方のお力をお借りしたい時がたくさんあります。どのようにしたら、地域の方に来て頂けるか考えていきたいと思っています。"

○どのような子どもを育てたいかについて改めて考えたいと思います。

○家庭に向けて積極的に情報を発信していくこと、これから子ども達のためにもっともっとよさを認め、褒め、伸ばしていけるようにしていきたいと思います。

○チャンスを模索

○地域の方との挨拶や立ち話

○伝統文化を教えてもらう

ボランティアでの関わり

○世間話や雑談も含めこれまで以上にゲストティーチャーやご近所さんなど地域の方々とお話したい

○今でも授業で地域の方に協力してもらっていることがあるのですが、しっかり授業でどんな力をつけたいのかなどを共有していきたいです。

○生徒会活動や部活動等で、地域の方と連携していくことが出来ればと思った。

○声かけ、一緒にやってみる、ほめるなどできることからやっていきたい

と思いました。

問5. また、このような機会があれば参加したいと思いますか

